

地域説明会 平成28年12月5日開催 <<水谷公民館>>

① 配布資料のスクールソーシャルワーカー等の表記はわかりにくい。次回の説明会等では精査してほしい。

②

Q 高齢化率が上がっていくなか、やんちゃな高齢者が増えてくる。現在の活動場所が、びん沼荘、老人クラブ、サロンぐらいしかないので、そういった方への施策も必要ではないか。

A 健康福祉部長

現在、日常生活支援総合事業におけるデイサービスなど、本人がサービスを選択する制度を作っており、新たな仕組みを作っていきたい。

③

Q 高齢者の事故が増えており、運転免許証の返納も考えなくてはならない。しかし、現状の富士見市の交通では、車がないと身動きがとれない。バスだけでは対応が難しいので、交通システムを充実してほしい。

A 建設部長

市内循環バスの特別乗車証の交付のほか、平成29年度からのデマンド交通の実証実験を行うなかで考えていきたい。

④

Q 水子地区はミニ区画整理が進んでいるが、小さい公園しかできない。環境や交流の面からも大きな公園が必要である。休耕地を借りるなどの活用ができないのか。

A まちづくり推進部長

水子地区は小規模ではあるが、生産緑地も取り込んだ開発を進めており、現在、2か所で整備を行っている。その中で公園も確保されている。また、農地もきちんとした区画に整備されている。さらに2か所ほどミニ区画整理の話を進め、整備していきたいと考えている。また、緑の確保対策も行っている。

⑤

Q ふるさと納税の歳入と市外に流出した額はどれくらいか。

A 総合政策部長

昨年、ふるさと納税による歳入が1,800万円程度、市外への流出は4,000万円代である。地方の応援という意味合いからも都市部ではマイナスとなる傾向ではあるが、マイナスを圧縮していきたい。

⑥

Q 石井緑地公園の清掃を町会で行っているが、お茶代など、市からの補助が全くない。緑の募金がたくさん余っていると聞いているので、そこから出せないのか。

A まちづくり推進部長

町会や生態系保護協会などの協力をいただいて下草刈りを行っているが、大きな木などは市のほうで対応しているので連絡してほしい。お茶代は出ない状況であるが、ご協力いただきたい。

緑の募金は町会長連合会に一部戻るような仕組みになっている。緑地保全基金については、お借りしている市民緑地の買い取りに使っていきたい。

⑦

Q 交通安全母の会や集会所の防火管理者講習などが個人負担となっており、市の補助がない。

A 自治振興部長

防火管理者の件は、前向きな検討をしていきたい。

⑧

Q 水子鶴馬通線はいつできるのか。交通量が多く危ない状況である。

A まちづくり推進部長

水子鶴馬通線は、小規模区画整理と都市計画道路を併せて整備できないか検討しているが、地権者もいるため時間がかかる。現在は、富士見橋通線からの整備を進める予定である。

⑨

Q 高齢化について真剣に受け止めないと将来が不安である。市と社会福祉協議会、町会、まちづくり協議会、警察などが連携して、住んで良かったと思える施策を入れてほしい。

A 市長

市は10年20年先を示すことが役目である。高齢化は、医師、歯科医師、薬剤師

や介護職員、町会、まちづくり協議会など、地域での総合力で支援することが必要となる。それらの力を束ねていく施策が必要である。

⑩

Q 学校で高齢者をいたわるカリキュラムを取り入れてほしい。

A 教育長

核家族化が進んでおり、高齢の方とのふれあいが減少している。それをカバーしていくのも教育の仕事であり、徳育の充実を進めたい。

⑪

Q 梨などPRするために駅を利用してはどうか。

A まちづくり推進部長

梨などは産業振興課でマップを作成してPRしているが、数に限りがある。梨出荷組合などと協力してPRしていきたい。

⑫

Q 本庁舎の障がい者用駐車スペースは、雨が降った際など、中に入るのが大変な場所にある。利用者の意見を伺いながら検討してほしい。

A 総務部長

少し遠い場所にあり、ご不便をおかけしている。負担が減らせる対応の検討をしていきたい。

⑬

Q 家の樹木が伸びている件で、近隣トラブルになっている。市に話しても「話し合い」での解決を求められる。何か手立てはないか。

A 自治振興部長

民・民の問題となるため、市での対応は難しい。